

目標の柱	2	就労対策・企業支援と戦略的な取組による町民所得の向上
基本目標(政策)	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)
基本計画(施策)	2-3-2	・林業分野での挑戦

	課	係
主管課・係	農林課	林政係・林業振興係
	環境水道課	環境衛生係
関係課・係	建設課	建築営繕係
	農林課	農林土木係
	各総合支所振興課	農林建設係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①国有林・民有林からの素材生産量の増加。 ②林業を魅力的な産業として成長させる。 ③林業経営体の増加と林業従事者数の増加。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①木材生産量(素材生産量)の増加。 ②南会津町産材の製品利用の増加。 ③林業経営体の増加と林業従事者数の増加。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 林業経営体数</td> <td>経営体</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>B 木材生産量</td> <td>m³</td> <td>36,400(30年度)</td> <td>28,000(元年度)</td> <td>33,900(2年度)</td> <td>43,000</td> <td>38,463(3年度)</td> </tr> <tr> <td>C 森林組合従事者数</td> <td>人</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>50</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>D 林業総生産額</td> <td>百万円</td> <td>358(28年度)</td> <td>342(29年度)</td> <td>381(30年度)</td> <td>361</td> <td>314(元年度)</td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	A 林業経営体数	経営体	27	27	27	28	28	B 木材生産量	m ³	36,400(30年度)	28,000(元年度)	33,900(2年度)	43,000	38,463(3年度)	C 森林組合従事者数	人	44	44	44	50	41	D 林業総生産額	百万円	358(28年度)	342(29年度)	381(30年度)	361	314(元年度)	<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>各経営体において安定的に事業量が確保されているため。</td> <td style="text-align: center;">△</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>私有林の施業地確保が減少しているため。</td> <td style="text-align: center;">△</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C ④ 下回った</td> <td>高齢等による離職と新規就業者が確保できなかったため。</td> <td style="text-align: center;">△</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D ⑤ 大きく下回った</td> <td>素材生産量が減少したため。</td> <td style="text-align: center;">△</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	各経営体において安定的に事業量が確保されているため。	△		B ④ 下回った	私有林の施業地確保が減少しているため。	△		C ④ 下回った	高齢等による離職と新規就業者が確保できなかったため。	△		D ⑤ 大きく下回った	素材生産量が減少したため。	△	
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																						
	実績値	実績値		実績値	目標値	実績値																																																							
A 林業経営体数	経営体	27	27	27	28	28																																																							
B 木材生産量	m ³	36,400(30年度)	28,000(元年度)	33,900(2年度)	43,000	38,463(3年度)																																																							
C 森林組合従事者数	人	44	44	44	50	41																																																							
D 林業総生産額	百万円	358(28年度)	342(29年度)	381(30年度)	361	314(元年度)																																																							
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ③ ほぼ目標値どおり	各経営体において安定的に事業量が確保されているため。	△																																																											
B ④ 下回った	私有林の施業地確保が減少しているため。	△																																																											
C ④ 下回った	高齢等による離職と新規就業者が確保できなかったため。	△																																																											
D ⑤ 大きく下回った	素材生産量が減少したため。	△																																																											
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<p>5 令和5年度の目標値達成の見込みと方向付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共構造物における木材の利用推進。 ・一般住宅への町産材使用を促すための木材住宅を対象とした事業の実施。 ・丸太の町内流通の支援実施。 ・森林施業促進のための林道の整備を実施。 ・新規雇用に当たっての林業事業者への支援。 																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般住宅への町産材利用により、町産材供給利用体制が強化された。 ・林業成長産業化推進会議にて、事業内容等を検証し、施策に反映している。 																																																												

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般住宅でも町産材が利用され、地産地消が図られた。 ・素材生産業者から施業地確保の動きが生まれ、生産量増加及び安定生産に向けた取組がはじまった。 ・町内製材所等が原材料として調達する木材について、町産材の割合が増加した。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した素材生産には、計画的な事業地の確保が必要。 ・素材生産に要する経費の削減。(機械化による生産効率の向上) ・町産材の製品の需要拡大。(付加価値の向上) ・人材の確保、育成及び就業希望者への情報提供。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>林業施策の拡充発展を図るうえで、外部委託等の見直しはないと思われる。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>木材価格が低迷しており、今後も大幅な上昇は想定されないことから、今まで以上に機械化等による生産性向上とコスト削減を進め、素材生産業者や山林所有者の利益を向上させる必要がある。また、木材の用途について、需要が旺盛なチップ材及びバイオマス燃料利用に偏ることなく、より高い価格の建築材への利用に向け、需要の確保と付加価値の向上に向けた取組を進め、1本の木から、より多くの収入が得られる仕組みの構築が必要。</p>
-------------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額
01	森林環境交付金事業	農林課	目的	森林の持つ多様な資源を有効に活用することで、森林環境学習や里山整備等による森林環境への意識醸成により地域の活性化を図る。		
			概要	町内小中学校における森林環境学習や地域住民による森林づくりへの参画を促進する事業のほか、ヤマザクラ植栽による里山林整備を実施した。		
			成果	ヤマザクラ植栽や森林環境学習により、森林資源の有効活用や森林づくりに参画することの重要性の再認識が図られた。		
		林政係	問題	ヤマザクラの植栽に適した場所が見つからない地区や住民が高齢化している地区での実施が進んでいない。		
			対策	①継続 ヤマザクラの育樹管理を支援し、森づくり意識の継続的な醸成を進める。		
		事業費	20,210	17,792	11,655	19,128
		02	林産業人材育成支援事業	農林課	目的	林産業の将来を担う人材の育成を支援することで、林産業の後継者確保と経営の強化向上を図る。
概要	新規雇用を行う林産業事業体に人材育成経費の一部を助成した。					
成果	林産業事業体で新規雇用が図られた。					
林業振興係	問題			技術の継承は継続性が必要であるが、危険性の高い林産業に従事するにはハードルが高い。		
	対策			①継続 新規雇用に対する支援を継続するほか、関連事業体が連携して林産業の魅力発信等の取組を検討していく必要がある。		
事業費	4,600			8,500	4,600	4,240
03	県営事業負担金(林道開設)	農林課	目的	森林が有する多面的機能の維持・増進を図るため、生活環境の改善にも資する骨格的な林道及び林業専用道の整備を図る。		
			概要	森林居住環境整備事業七ヶ岳線及び山のみち地域づくり交付金事業田島・館岩I線の町負担金、森林施業のための道である林業専用道整備事業の町負担金により事業を実施した。		
			成果	森林が有する、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面的機能の維持・増進が図られた。		
		農林土木係	問題	国費及び県費の予算の確保が困難のことから、事業期間内での完了が困難なこと。		
			対策	①継続 県当局に引き続き事業継続の要望を行う。		
		事業費	24,782	55,330	63,580	63,580
04	森林環境保全直接支援事業	農林課	目的	間伐や保育・造林等による森林整備を行うことで、森林の持つ多面的・公益的機能の維持向上を図る。		
			概要	植栽、下刈、除伐・間伐等の必要な森林施業を実施した。		
			成果	適切な森林施業により、森林の持つ多面的・公益的機能の維持向上が図られた。		
		林政係	問題	長期的な視点による整備計画が未策定。		
			対策	①継続 町内における森林整備履歴を整理し、長期的な視点に基づく整備計画を策定する。		
		事業費	25,724	25,243	20,087	23,669
05	町産材使用新築住宅等支援事業	農林課	目的	町内に建築される木造住宅に対し町産木製品の使用量に応じて補助金を交付し、町産木材の利用拡大を図る。		
			概要	町産木材の使用量に応じた補助(160千円~1,200千円)。薪ストーブ嵩上げ補助(300千円)。		
			成果	一般住宅での町産木材使用により、スギ材の町内需要拡大と流通促進が図られた。		
		林業振興係	問題	補助金に頼らない町産材の需要拡大。		
			対策	①継続 事業成果の検証及び段階的に補助率を下げしていく。		
		事業費	27,300	10,960	8,380	7,100
06	林業成長産業化推進事業	農林課	目的	林業生産基盤の強化を推進するため、林業の成長産業化に向けた地域構想に基づき、目的達成のため各種プロジェクトを実施し林業振興を図る。		
			概要	目的達成のため11の重点プロジェクトを平成29年度から5か年間を実施した。		
			成果	民間事業体の林業機械導入及び木材加工施設整備への補助並びに木質資源利用ポイラー導入、林産業振興の拠点施設整備等により、林業成長産業化の基盤が整備された。		
		林業振興係	問題	モデル事業で導入・整備した林業機械、施設等の効果的な運用が必要である。		
			対策	①継続 事業成果の検証及び安定した財源確保並びに広葉樹材の利活用を推進する。		
		事業費	216,405	573,169	7,596	3,931
07	補助治山事業山腹工事	農林課	目的	藤生小塩地区の家屋裏の山腹崩壊箇所の復旧を図る。		
			概要	簡易法砕工により山腹崩壊箇所の復旧を実施した。		
			成果	山腹崩壊箇所の復旧により、地域住民の生活の安全が図られた。		
		農林土木係	問題	特になし。		
			対策	③廃止 令和4年度で終了。		
		事業費	30,533	35,070	40,053	0
08	町産丸太搬出促進事業	農林課	目的	素材生産の増加に向けた運搬支援及び地元加工の促進を図る。		
			概要	町産針葉樹丸太の町内製材所等への運搬経費を助成した。		
			成果	町産針葉樹丸太の町内流通が増加した。		
		林業振興係	問題	町産針葉樹丸太の町内流通は一定程度確保されている一方、広葉樹材の利活用に向けた流通体制の強化。		
			対策	①継続 事業成果の検証及び段階的に補助率を下げしていく。		
		事業費	23,439	4,011	3,290	2,600

09	森林環境譲与税事業	農林課	目的	森林の整備や、森林の整備を担うべき人材の育成、確保及び森林の有する公益的機能に関する普及啓発や木材利用の促進を図る。			
			概要	私有林整備に向けた地権者の意向確認及び搬出間伐や林道維持等の支援、就業者の育成等に取り組んだ。			
			成果	意向確認の実施により所有者の把握と所有者の森林に対する認識が深まった。また、各補助事業により森林整備や林道の修繕が進み、労働安全環境の向上が図られた。			
		林政係	問題	森林所有の経営管理に対する意向を踏まえ、どのような施策を取るか方針が定まっていない。			
			対策	①継続	森林経営管理の方針を定め、意向調査結果をもとに私有林整備に取り組んでいく。		
			事業費	39,307	36,898	44,991	47,009
			事業費				
10			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
11			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
12			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
13			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
事業費の合計(千円)			412,300	766,973	204,232	171,257	